

第48期 第2四半期のご報告

# IR ハンドブック

[平成24年4月1日～平成24年9月30日]



## Airport Ground Power



Power Supply Business



Maintenance Business



Supplementary Equipment Business

特集

3カ年中期事業計画への取組み状況



AGP CORPORATION

銘柄コード：9377



代表取締役社長

杉本 孝

エージーピー



グループ理念

### 「社会から信頼を受ける会社を目指し、 社会の繁栄と地球環境の浄化保全に貢献する」

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、欧州や中国等の対外経済環境を巡る不確実性は高く、景気が下押しされるリスクが存在しております。

一方、航空業界では、航空各社による増便や路線の開設など拡大基調にあるものの、中国との外交関係の悪化とともに予断を許さない状況となっております。また、本年就航した本邦LCC3社は順調に需要を取り込んで存在感を増しており、今後、既存航空会社との競争がさらに激化するものと思われま

す。このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1億41百万円(2.9%)増の50億80百万円となりました。

営業費用につきましては、動力事業および付帯事業において売上増加に伴い原材料費が増加したものの、動力事業での減価償却費の減少に加え整備事業での原材料費の減少等により、前年同期比30百万円(0.6%)減の47億45百万円となりました。

この結果、営業利益は、前年同期比1億72百万円(106.3%)増の3億34百万円、経常利益は前年同期比1億70百万円(123.9%)増の3億8百万円、当四半期純利益は前年同期比26百万円(38.0%)増の96百万円となりました。

現在、当社グループは、当期を初年度とする3カ年の中期事業計画に取り組んでおります。本計画期間は、「競争力強化の集中改革期間」と位置付けており、経営環境の変化に対する柔軟な対応力の養成、収益力の向上など、事業構造の改革に努める中、全社横断的なプロジェクト、セグメント別の取組みを加速させております。

第48期(2013年3月期)の通期見通しにつきましては、動力事業における国内航空会社による国際線の増便やB787型機の就航便数増加による増収、整備事業における顧客の経費削減施策の強化・継続による減少、付帯事業のフードカートの販売増などを見込み、売上高100億73百万円を予想しております。

株主の皆さまには、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 中期事業計画の取組み状況

中期事業計画の最初の6か月間であった当第2四半期は、首都圏空港発着枠の増加やLCCの伸長などにより、航空需要の回復・拡大基調が明確となりました。当社はそれらを着実に取り込む一方、同計画の基本方針の一つである構造改革についても、具体的に進めています。

**中期事業計画**  
(2013年3月期~2015年3月期)

### 「競争力強化の集中改革期間」

#### 基本方針

従来の概念に捉われない発想をもってコスト競争力を強化し、動力事業をはじめとした各事業の早急な収支改善を図り、安定的に利益を出せる体制を構築する。

#### 構造改革

- 既存ビジネスモデル・体制を再度見直し、必要に応じて転換を図る
- 増収・コスト削減が見込める投資は計画的かつ確実に実行
- 選択と集中により不採算部門の収支改善を図る

#### 事業領域の拡大

- 保有する人材・技術力を活用し、既存業務の周辺分野への進出を図る
- 新規事業の研究・開発を推進する

#### コスト改革

- 業務の見直しと工夫により、総人員数の圧縮を図る
- 当社グループ間での人材流動化を含む効率的な人員配置を行う
- 基幹要員の採用は継続しつつ、業務量の増減に対応できる非正社員比率を高める

#### 人材の育成

- 新規技術・ライセンス取得等人材への投資を計画的に実行する

#### - 進捗① - フードカートの販売拡大

フードカート事業では当社が機内食カートで培ってきた実績とノウハウをベースに、全国病院施設の新築・建替え案件の獲得や、リピート需要に対するきめ細かな営業展開による売上拡大に努めています。当第2四半期はこれらの取組みが成果に結びつき、販売増へとつながりました。



当社フードカート

#### - 進捗② - 3空港出張所の閉鎖を決定

構造改革の一環として、鹿児島空港出張所・熊本空港出張所・長崎空港出張所の閉鎖を決定しました。これは航空会社の経営効率化、航空機の減便・小型化の影響等から収支改善を期待できない3拠点を閉鎖するとともに、成長領域へ経営資源を集中する戦略によるものです。

事業場名称	事業内容	閉鎖日
鹿児島空港出張所	動力事業	2012年10月末
熊本空港出張所	動力事業	2013年1月中旬予定
長崎空港出張所	動力事業	2013年1月末予定

# ひと目でわかる AGP — 事業別概況と今後の取組み —

## セグメント別売上高(連結)

動力  
事業

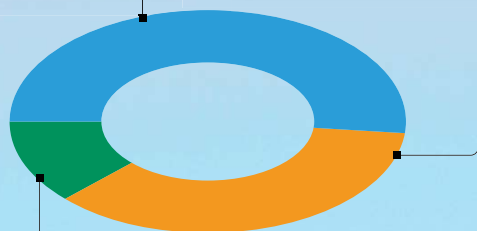
2,631百万円

51.8%

整備  
事業

1,836百万円

36.1%



付帯  
事業

613百万円

12.1%



動力事業 セグメント利益(連結) **304**百万円(前年同期比+176百万円)

整備事業 セグメント利益(連結) **197**百万円(前年同期比△37百万円)

付帯事業 セグメント利益(連結) **140**百万円(前年同期比+28百万円)

連結営業利益 **334**百万円(前年同期比+172百万円)

## 動力事業

Power Supply Business



GPU固定式：電力

航空機への動力(電力・冷暖房気・圧搾空気)の供給や、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理を行っています

### 2013年3月期第2四半期累計期間

売上高 26億31百万円 6.2%増

セグメント利益 3億4百万円 138.2%増

#### 要因

- 売 航空需要の回復に伴う増便や路線の開設
- 売 A380型やB787型機の就航などにより、成田空港をはじめとする国際線で比較的堅調に推移
- 利 減価償却費の減少
- 利 売上増加に伴う原材料料費の増加

### 中期事業計画における今後の取組み

- ① 航空各社への供給拡大や設備使用時間の延長を目指した営業活動を推進
- ② 事業の基幹となる羽田・成田両空港の拡張計画や増加するB787型機の就航に合わせた動力設備の増強を図る
- ③ 動力設備の仕様見直し、エネルギー効率の高い機材開発等により、調達コストおよびランニングコストの低減を図る
- ④ 採算性の低い事業領域の見直し

## 整備事業

## Maintenance Business



手荷物搬送設備

空港における建物・諸設備の保守・維持管理や、発着支援設備など特殊設備のメンテナンスを行っています

## 2013年3月期第2四半期累計期間

売上高 18億36百万円 6.4%減

セグメント利益 1億97百万円 15.9%減

## 要因

売 前年同期に空港外施設で大型別件工事があった反動

売 成田空港における空港関連施設の保守管理基本契約や更新・修繕作業の減

## 中期事業計画における今後の取組み

- ① 保有するメンテナンスのノウハウと24時間運営体制の強みを生かした提案型営業を推進し、空港設備老朽化に伴う更新・補修工事の受注拡大、空港外施設および物流センターに関する保守領域の拡大を目指す
- ② 業務内容の見直し、弾力的な人材運用、コスト削減などにより競争力を強化し、利益を重視した事業モデルへの転換を図る
- ③ 高付加価値業務を受託するための技術習得を継続し、計画的な人材の育成および確保に努め、業務領域の拡大を図る

## 付帯事業

## Supplementary Equipment Business



EH加熱カート



保温カート

フードカートやGSE (Ground Support Equipment) 関連製品など、航空機の運航に付帯する製品の開発および製作、販売を行っています

## 2013年3月期第2四半期累計期間

売上高 6億13百万円 22.7%増

セグメント利益 1億40百万円 26.0%増

## 要因

売 フードカート販売の増

## 中期事業計画における今後の取組み

- ① フードカート販売
  - ・ 今後数年間にわたり計画されている全国病院施設の新築・建替え案件の獲得に注力
  - ・ リピート需要に対して、きめ細かい営業を展開し確実な受注を目指す
  - ・ 新商品開発およびアフターサービス体制の強化による収益力の向上を図る

- ② 各空港における新型セキュリティ機器の導入・更新に伴う設置工事および保守の受託拡大を目指す



プレーキクーリングカート



## 航空機用動力設備の新方式‘Power Arm’を導入

当社の動力供給事業は、空港に設置した航空機用動力設備を駐機中の航空機に接続して供給する方式GPU (Ground Power Unit) を主要形態としています。これは電力会社からの電力等をエネルギーとして航空機用電力や冷暖房気に変換して供給するもので、航空機に搭載されたガスタービン補助動力装置を稼働するAPU (Auxiliary Power Unit) 方式に比べ、環境、コスト面で優れています。

当社は全国9空港に約300台のGPU固定式をほぼ独占的に設置していますが、このたび、新たなタイプの運用試験を開始しました。これは「地上走行方式 (Power Arm)」と呼ばれるもので、従来の「地下埋設方式」「旅客搭乗橋懸架方式」に続く第3の方式となります。空港グランドハンドリングの妨げとならない範囲であれば、空港の既存スペースに対して低コストで設置可能であるほか、便数が増加中であるLCCの専用スポットへの展開が期待されています。

今後も航空需要の伸びと環境意識の高まりにともない、GPUへのニーズはさらに高まることが期待されます。当社は新方式も含めた幅広いラインアップでこれにお応えし、動力事業の拡大を図ってまいります。

…………… **拡大する動力供給ニーズに対し、幅広いラインナップで応えていきます。** ……………



地下埋設方式



旅客搭乗橋懸架方式



地上走行方式 (Power Arm)



### ‘Power Arm’の特長

長所:

- ① 埋設方式および旅客搭乗橋懸架方式に対し、設置コストを低減
- ② 旅客搭乗橋が無いスポットへも展開可能
- ③ 旅客搭乗橋懸架方式に対し、設備不具合による旅客搭乗橋運用への影響を低減

設置場所: 福岡空港55番スポットにて運用試験中

### 第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当四半期 2012年9月30日現在	前期 2012年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	4,689	4,690
現金及び預金	1,703	1,701
受取手形	1	0
営業未収入金	1,316	1,499
有価証券	891	890
商品及び製品	61	72
仕掛品	123	14
原材料及び貯蔵品	298	264
前払費用	133	94
繰延税金資産	68	60
その他の流動資産	91	91
固定資産	5,924	6,316
有形固定資産	4,764	5,204
無形固定資産	42	50
投資その他の資産	1,117	1,061
資産合計	10,614	11,007
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	1,978	1,984
営業未払金	859	922
一年以内返済長期借入金	481	511
一年以内返済リース債務	107	105
未払金	75	64
未払法人税等	136	72
未払費用	270	234
資産除去債務	29	0
その他の流動負債	19	72
固定負債	3,156	3,518
長期借入金	1,996	2,307
退職給付引当金	956	955
その他の固定負債	0	0
リース債務	171	222
資産除去債務	32	32
負債合計	5,135	5,502
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	5,487	5,504
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	114	114
利益剰余金	3,334	3,351
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	△ 9	0
純資産合計	5,478	5,504
負債純資産合計	10,614	11,007

### 第2四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日	前四半期累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日
売上高	4,966	4,815
売上原価	4,355	4,355
売上総利益	610	460
販売費及び一般管理費	307	311
営業利益	302	148
営業外収益	2	6
受取利息	0	1
受取配当金	0	1
その他の営業外収益	1	3
営業外費用	28	29
支払利息	23	25
リース支払利息	3	4
その他の営業外費用	1	—
経常利益	277	125
特別損失	132	2
貸倒引当金繰入額	0	2
固定資産除却損	4	0
事業撤退損	128	—
税引前四半期純利益	144	122
法人税、住民税及び事業税	127	60
法人税等調整額	△ 63	△ 2
四半期純利益	81	64

# 連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円) 当四半期 2012年9月30日現在 前期 2012年3月31日現在

1 【資産の部】	当四半期 2012年9月30日現在	前期 2012年3月31日現在
流動資産	5,265	5,181
現金及び預金	2,214	2,133
受取手形及び売掛金	1,343	1,527
有価証券	891	890
商品及び製品	61	72
仕掛品	123	14
原材料及び貯蔵品	309	275
その他	321	266
固定資産	6,024	6,402
有形固定資産	4,764	5,205
構築物(純額)	1,811	2,073
機械及び装置(純額)	1,684	1,806
その他(純額)	690	756
無形固定資産	43	51
投資その他の資産	1,215	1,145
その他	1,222	1,152
貸倒引当金	△ 6	△ 6
資産合計	11,289	11,583

2 【負債の部】	当四半期 2012年9月30日現在	前期 2012年3月31日現在
流動負債	1,852	1,811
営業未払金	413	466
未払法人税等	171	82
資産除去債務	29	—
その他	1,237	1,263
固定負債	3,695	4,019
長期借入金	1,996	2,307
退職給付引当金	1,494	1,457
資産除去債務	32	32
その他	171	222
負債合計	5,547	5,831
3 【純資産の部】		
株主資本	5,750	5,751
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	114	114
利益剰余金	3,598	3,598
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	△ 9	0
純資産合計	5,741	5,752
負債純資産合計	11,289	11,583

### 1 【資産】

前期末に比べ2億94百万円(2.5%)減少し、112億89百万円となりました。

#### ■流動資産

前期末に比べ1.6%増の52億65百万円となりました。

-主要要因- ↓受取手形及び売掛金が1億84百万円減  
↑仕掛品が1億9百万円増

#### ■固定資産

前期末に比べ5.9%減の60億24百万円となりました。

-主要要因- ↓有形固定資産が4億40百万円減

### 2 【負債】

前期末に比べ2億83百万円(4.9%)減少し、55億47百万円となりました。

#### ■流動負債

前期末に比べ2.3%増の18億52百万円となりました。

-主要要因- ↓営業未払金が52百万円減  
↑未払法人税等が89百万円増

#### ■固定負債

前期末に比べ8.1%減の36億95百万円となりました。

-主要要因- ↓長期借入金が3億11百万円減

### 3 【純資産】

前期末に比べ0.2%減の57億41百万円となりました。

#### -主要要因-

↓当四半期純利益及び剰余金の配当の加減算ならびにその他有価証券評価差額金により10百万円減



## Consolidated Financial Statements

## 第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

当四半期累計	前四半期累計
2012年4月1日～	2011年4月1日～
2012年9月30日	2011年9月30日

売上高	5,080	4,938
売上原価	4,379	4,404
売上総利益	701	534
販売費及び一般管理費	366	372
4 営業利益	334	162
営業外収益	3	5
営業外費用	29	30
4 経常利益	308	137
特別損失	132	2
税金等調整前四半期純利益	175	135
法人税、住民税及び事業税	162	67
法人税等調整額	△ 83	△ 2
少数株主損益調整前四半期純利益	96	70
5 四半期純利益	96	70

第2四半期  
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当四半期累計	前四半期累計
2012年4月1日～	2011年4月1日～
2012年9月30日	2011年9月30日

営業活動によるキャッシュ・フロー	684	676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 111	△ 153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 492	△ 441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	80	81
現金及び現金同等物の期首残高	3,024	2,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,105	2,635

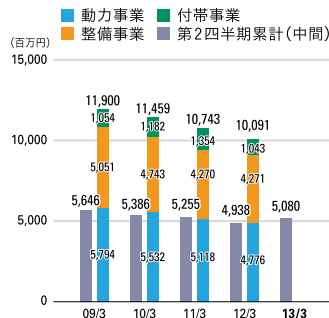
## 4 [営業利益・経常利益]

売上高の増加及び営業費用の減少により、営業利益(106.3%増)、経常利益(123.9%増)ともに前年同期を大幅に上回りました。

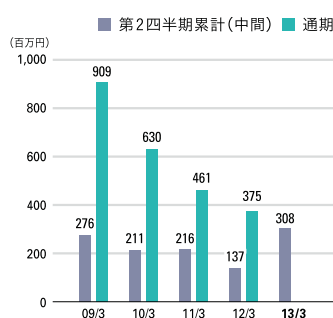
## 5 [四半期純利益]

3ヶ所の空港出張所閉鎖に伴う設備投資撤去等にかかわる事業撤退損1億28百万円を特別損失として計上したことにより、前年同期比38.0%増の96百万円にとどまりました。

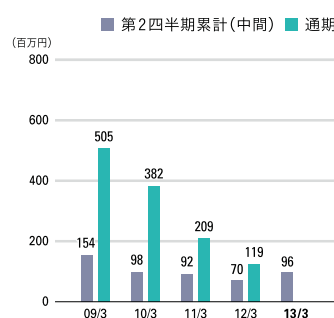
## 売上高



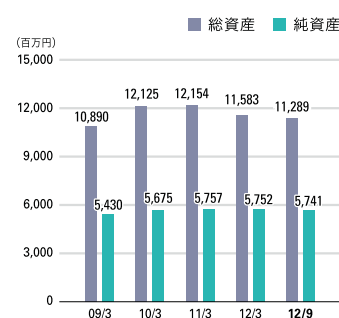
## 経常利益



## 四半期(当期)純利益



## 総資産・純資産



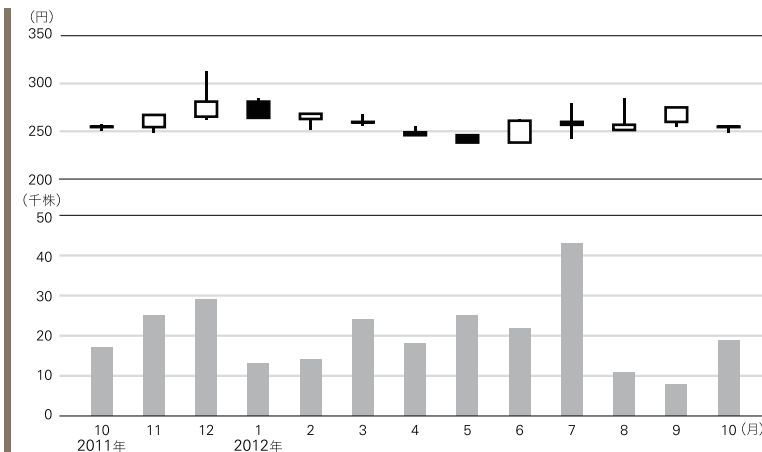
### 株式の状況

発行可能株式総数	52,000,000 株
発行済株式総数	13,950,000 株
株主数	529 名
単元株式数	1,000 株

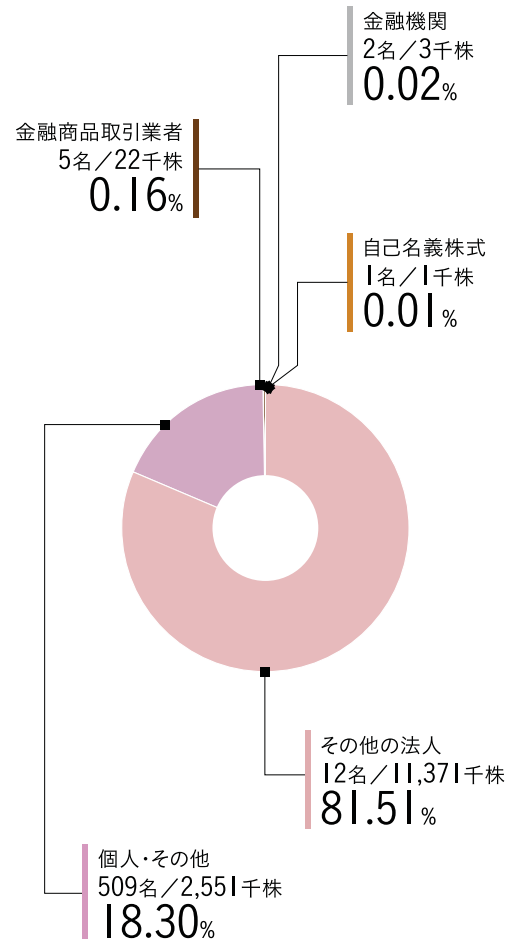
### 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本航空株式会社	4,651,000 株	33.34 %
三菱商事株式会社	3,740,000 株	26.81 %
全日本空輸株式会社	2,793,000 株	20.02 %
エージーピー社員持株会	584,000 株	4.18 %
森田 成一	93,000 株	0.66 %
栗原工業株式会社	86,000 株	0.61 %
高橋 知子	72,000 株	0.51 %

### 株価及び株式売買高の推移(月足)



### 株式の分布状況



## 会社概要

商号	株式会社エージーピー AGP CORPORATION
本社	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707 E-mail info@agpgroup.co.jp
最寄駅	東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分
設立	1965年12月16日 ／日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日 ／株式会社エージーピーに商号変更
資本金	20億3,875万円
社員数	633名(連結)／174名(個別)(2012年9月30日現在)
会計監査人	新日本有限責任監査法人

## 役員

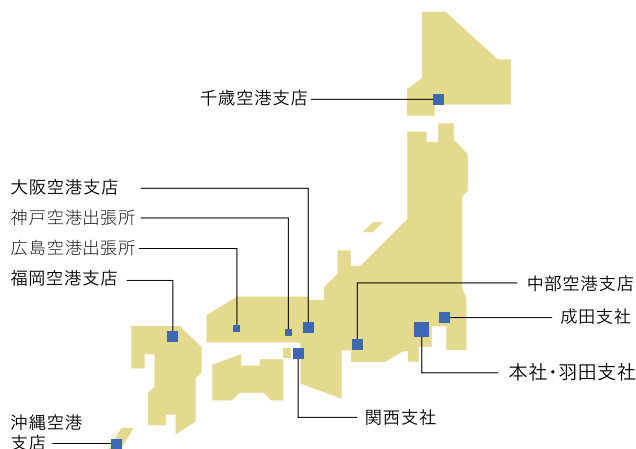
代表取締役社長	杉本学
常務取締役	山梨明
常務取締役	生形茂
常務取締役	福田朗
取締役	小林正樹
取締役	田中和之
取締役	金子晋也
常勤監査役	松浦秀樹
監査役	長谷川正人
監査役	浅木純
監査役	佐伯誠治

## エージーピーグループ(連結子会社)

株式会社エージーピー沖縄	株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー関西	株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー九州	株式会社エージーピー中部

## ネットワーク

本社	- 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707
成田支社	- 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1 (日本航空成田第一ハンガー内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779
羽田支社	- 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191
関西支社	- 大阪府泉南市泉州空港南1番地 (関西国際空港格納庫内) TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107
千歳空港支店	- 北海道千歳市美々 (新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213
中部空港支店	- 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (中部国際空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165
大阪空港支店	- 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地 (大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490
神戸空港出張所	- 兵庫県神戸市中央区神戸空港4-1 TEL.080-5075-5932
福岡空港支店	- 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地 (福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974
広島空港出張所	- 広島県三原市本郷町善入寺64番31 (広島空港内) TEL.0848-60-8311
沖縄空港支店	- 沖縄県那覇市鏡水150番地 (那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229





## ホームページのご紹介

当社ホームページでは、会社概要、IR情報、製品・サービスや採用情報など様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けては、決算短信、IRハンドブック等のほか、最新のIRニュースや株価情報なども掲載しております。ぜひご覧ください。

また皆さまのご意見・ご要望もお待ちしております。

URL>>> <http://www.agpgroup.co.jp/>



## 株主メモ

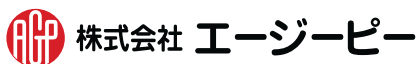
決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	毎年3月31日 そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (同送付先)	同社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話：0120-232-7111 (通話料無料)

## INFORMATION

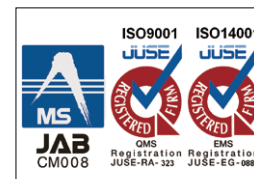
### 株式に関するお手続きについて

- (1) 株券電子化に伴い、株主さまの住所・氏名等の変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
なお、未受領の配当金及び株式事務に関する一般的なお問い合わせにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- (2) 「特別口座※」に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（兼 株主名簿管理人）である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

※「特別口座」：株券電子化実施日において「株式会社証券保管振替機構（ほふり）」をご利用でない株主さまの権利を確保するために、当社が当該株主さまの名義で開設した口座です。



〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707  
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail: [info@agpgroup.co.jp](mailto:info@agpgroup.co.jp)



本冊子はリサイクルペーパーを使用しております。